WRC

オンラインワークショップ

論文投稿前 最終修正におけるポイント ～査読者からのアドバイス～

※本ワークショップはオンラインで開催されます。
※ビデオの視聴は参加登録無しで視聴いただけますが、
フォローアップセッションは参加登録が必要です。

対象：広島大学の研究者
※大学院生も参加可
言語：英語
新任教員研修プログラムの対象です

概　要

このワークショップでは、人文科学分野の経験豊富な査読者の視点から、ジャーナルや書籍への投稿前や再投稿前に、効果的に原稿を修正するポイントをアドバイスします。このワークショップは、ビデオとフォローアップセッションで構成されています。ビデオでは、二重盲検査読プロセスにおけるポイント、例えば、Introductionでは「学術的背景がきちんと記述されているか」、Methodでは「研究方法の妥当性が明確に説明されているか」、原稿の構成では「論理的な流れになっているか」など、査読者が評価する主なポイントについて説明します。フォローアップセッションでは、(i) 査読者のコメントの理解、(ii) 査読者への回答準備と書き方、についてディスカッションやアドバイスを行います。執筆中や過去の原稿、過去に受けた査読者からのコメントなどを持ち込んでのディスカッションも歓迎します。

ワークショップビデオ

視聴開始日： 2022年 9月 9日（金） 13:30～

※ライティングセンターのホームページに公開します： https://www.hiroshima-u.ac.jp/wrc

フォローアップセッション

【第1回】2022年 9月 13日（火）13:30 ～ 15:00
【第2回】2022年 9月 15日（木）13:30 ～ 15:00
【第3回】2022年 9月 16日（金）13:30 ～ 15:00

※フォローアップセッションは各回定員30名で、Microsoft Teamsを利用した双方向のセッションとなります。参加ご希望の日時を選んで参加登録を行ってください。
※セッションに参加する前までに、ワークショップビデオを必ず視聴しておいてください。

講　師

ワン・ティンジア Tingjia Wang, PhD
広島大学ライティングセンター 助教

ワン助教は、オーストラリア・シドニー大学で博士号（言語学）を取得した、機能言語学および社会記号論の専門家です。応用言語学、教員養成、社会記号論からコミュニケーション論まで幅広く研究しています。広島大学ライティングセンターに2020年12月に着任する前は、オーストラリアで学際的な研究および教育に幅広く携わっていました。Routledge出版の他、Multimodal Literacy（多種のコミュニケーションモードを活用する技能）とデジタル教育に関連するTESOL（第二言語としての英語教授法）分野の学術誌で外部レビュアーを務めています。

申込み・問合せ：広島大学ライティングセンター
未来共創科学研究本部 研究戦略推進部門（ライティングセンター担当）
Registration: www.hiroshima-u.ac.jp/wrc
E-mail: wrc-research@office.hiroshima-u.ac.jp